

事業の用に供する施設の概要

施設の種類及び処理の方式：廃プラスチック類、紙くずの圧縮施設

設置場所：札幌市西区発寒 12 条 13 丁目 1020 番 232

設置年月日：平成 25 年 11 月 18 日

処理能力：

(廃プラスチック類) 88 t / 日 (8 時間)

(紙くず) 163 t / 日 (8 時間)

構造及び設備の概要：

投入物を油圧プレスで圧縮するとともにスチールワイヤーで梱包をします。粉じん及び騒音対策：建屋内に設置。投入量の適切な管理。振動対策：コンクリート基礎上への設置。

施設の種類及び処理の方式：廃プラスチック類の破碎・溶融施設

設置場所：札幌市西区発寒 12 条 13 丁目 1020 番 232

設置年月日：平成 25 年 11 月 18 日

処理能力：0.64 t / 日 (8 時間)

構造及び設備の概要：廃発泡スチロールを破碎の後、電熱を利用して溶融（減容固化）。粉じん及び騒音対策：建屋内に設置。破碎物投入量の適切な管理。振動対策：コンクリート床面上への設置。臭気対策：脱臭装置の設置、汚れのひどいものを受入しない。

施設の種類及び処理の方式：金属くずの破碎施設

設置場所：札幌市西区発寒 12 条 13 丁目 1020 番 273

設置年月日：平成 25 年 11 月 18 日

処理能力：123 t / 日 (8 時間)

構造及び設備の概要：ギロチンシャー型の切断機。粉じん及び騒音対策：建屋内に設置。投入量の適切な管理。振動対策：コンクリート基礎上への設置。防振架台、防振装置を装備。

施設の種類：保管場所

保管場所は全て屋内に設置。保管の際は保管基準を遵守します。

保管する産業廃棄物の種類及び  
保管高さ上限／保管数量の上限

- ・廃プラスチック類 -m / 12.32 m<sup>3</sup>
- ・金属くず -m / 396 m<sup>3</sup>
- ・金属くず -m / 432 m<sup>3</sup>
- ・金属くず -m / 648 m<sup>3</sup>
- ・紙くず -m / 160 m<sup>3</sup>
- ・廃プラスチック類（廃発泡スチロール） -m / 12.32 m<sup>3</sup>